

平成30年10月4日

もっと現場を知る！職員短期派遣研修報告書

所属名	隠岐保健所	氏名	渡邊 友美
派遣先 団体名	社会福祉法人博愛(障がい者支援施設仁万の里)		
① 研修の日時 平成30年8月27日(月)～29日(水) 8:30～17:15 隠岐の島町都万 仁万の里 <u>※事前計画書では終了時間を～17:30としていましたが、～17:15に変更になりました。</u>			
② 研修の内容(できるだけ詳しく記載してください。) (1)レクリエーション活動補助 利用者の状態に合わせた活動の見守り、横に座っての会話相手、お花教室の補助、児童と一緒に工作作り、居室共同スペースで囲碁、散歩の同行など。 (2)介護支援 食事の配膳の手伝い、食事の介助、一緒に食事、食事片付け、お茶菓子時間の準備やコップ洗い、車いすの介助、居室で一緒にテレビ鑑賞、共同スペースでの話し相手、日誌の書き方、処方薬の確認手伝いなど。 ※(3)生産物・作品販売活動補助は、施設の都合により、取りやめになりました。			
③ 研修の感想 (研修の全般的な感想、各団体での活動の意義や協働に対する感想(研修前後における意識の変化)等について記入してください。) 研修前後で変わったのは、今まで障がい者との接点が少なかった私にとって、障がい者を取り巻く環境や、そこで働く方の現場での状況を知ること、より利用者やその家族、また職員の身になって親身に考えられるようになったことが一番大きな変化でした。 重度の知的障がい・身体障がいの方が居住するスペースで過ごした時間が多かったことから、そもそも利用者はどういう方なのか、利用者のくらしがどういうものかを知ること、当事者の思いを想像することが以前に比べて出来るようになったと感じています。施設の所長や課長から施設について説明を受けてから現場に入ったことで、制度やかかえている問題についても意識しながら研修に参加することができました。保健所という職場柄、障がい者福祉に関連する仕事も今後あると思うので、今回の経験を生かしたいと思います。 今回の研修を通して感じたのは、施設の中で働く方と外から見ると見え方に、相当の隔たりが依然としてある、ということです。どうしたら改善できるのか、考えていきたいと思っています。			
④ その他特記事項 (※今後の研修実施に当たっての改善点、留意しておくべきことなどがあれば記入してください。) 研修日程を、私の都合により5日から3日に短縮してもらいましたが、仁万の里の研修は、3日では全体像が見えてこないように思います。5日は長いようですが、研修としては適切な期間設定だったと思います。しかし、5日間職務を開けるのは勇気があることから、職場のサポートが必須だと感じました。			

(注1)研修日時・内容等がわかる資料があれば、添付してください。

(注2)報告書は、平成31年1月31日までに人事課あてにメールで提出してください。